

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

| | | | |
|-----------|---|---------|--------------------|
| 事業者名 | グループホーム ポプラ 1Fユニット | 評価実施年月日 | 平成21年2月5日～21年2月18日 |
| 評価実施構成員氏名 | 八島亜沙美 八島 彩 流 久美子 堀内 薫 早坂 美樹 佐藤 智美 池下 彩 川田優子 | | |
| 記録者氏名 | 1Fユニット 管理者 八島 亜沙美 | 記録年月日 | 平成21年3月8日 |

北 海 道

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-------------|--|------------------------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念の共有 | | | |
| 1 | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p> <p>事業所独自の理念を掲げ、日々の取り組みとしている。運営推進会議などではホームの情報伝達、報告し地域からの提案や意見などが有った際には、それらを元にしながら向上に努め、更なる地域との連携を深めるよう取り組んでいる。</p> | | <p>事業所独自の理念を掲げ、その人らしく暮らしていく事を支援したサービスを実践している。又、積極的に町内の行事、町内で行われているサロン等に参加をし交流を深めている。</p> |
| 2 | <p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p> <p>管理者と職員は理念を把握し、念頭に入れ日々の実践に取り組んでいる。職員会議、カンファレンス等を行い、利用者の状態に合った個別ケアを実施する為に統一したケアが出来るように理念の実践に向けた取り組みを行っている。</p> | | <p>理念を念頭にした他に、より具体的簡素化した合言葉「入居者の心に希望を！」を職員間で共有し日々の支援に努め、又、利用者の方に希望を与えてあげられるよう職員が健全で笑顔を忘れないよう日々の実践に取り組んでいる。</p> |
| 3 | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らしていることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>ご家族や利用者、地域の方がたへ事業所の理念を理解して頂く為に、町内の行事や資源収集の協力など出来る限り行っている。近隣の方への挨拶やお声がけを積極的に続けて居る事でご家族、地域、近隣の方に理解、協力をして頂けるようになって来たので、今後も更に広まるよう取り組んでいる。</p> | | <p>地域においては運営推進会議を元に、ご家族には家族会や面会などで利用者の方が地域の中で安心して暮らせるよう常日頃から理念の理解をして頂けるよう取り組みをしている。</p> |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p> <p>近所の方と会った時は、お互いに挨拶を交わし、以前より会話が弾むようになった他、お花、果物などのおすそ分けを頂くなど多々と増え、ホームからも自家菜園・農家より頂いた野菜のおすそ分けを行って、日常のお付き合いが出来るように努めている。</p> | | <p>挨拶をはじめゴミ出し、出勤時など気軽に声掛けするよう努めている事で交流が深まり、おすそ分け以外に利用者の方と共に作った手作りのお菓子を囲みながら、近隣の方々と交えて団欒が出来る場に取り組むを図っている。</p> |
| 5 | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p> <p>町内清掃、行事への参加などに地域の一員として参加し、避難訓練時には近隣の方、町内役員が実際に参加され近隣の協力の大切さを理解されている、又、運営推進会議時を通じて地元の人々との交流に努めている。</p> | | <p>地域の一員として、地域行事、地域活動などに積極的に参加し、ホーム行事のひとつとして避難訓練などに参加して頂くなど地域の方々と更なる交流を深める事に努めている。</p> |
| 6 | <p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p> <p>運営推進会議の中で常に町内や地域に役立つ事をお聞きしている。町内の資源回収時は職員・ご家族の方からも持参して下さって協力している。又は、町内で行われている独居高齢者の「ふれあいサロン」に参加し交流に取り組んでいる。</p> | | <p>利用者への支援を基盤に職員の状況や力に応じて、一人暮らしのお宅へ訪問して行くなど、暮らしの中に役立つ事がないか積極的に声掛けをした取り組みを行っている。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|-----------------------|---|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> | | <p>自己評価、外部評価を実施する事で職員全員が評価の意義を再確認し、日々の支援についても再確認・再認識しつつ更なる改善に向け取り組みを行っている。</p> <p>職員が常に「気づき」に繋がるよう自己評価をし活かし、カンファレンス等で具体的な改善に向けた改善に取り組んでいる。</p> |
| 8 | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> | | <p>運営推進会議では、地域の方々に参加をされている。会議の内容はホームでの近況報告で有ったり、認知症・グループホームでの暮らしのあり方などをありのままに伝えていく事で理解が深まり、地域と事業所が密になり、今後に向け積極的に取り組みを行っている。</p> |
| 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | | <p>市町村担当者・包括支援センター担当者とは、相談や不明な事をほかに、今後の事業所の取り組み方についてなどで出向く機会を作り、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p> |
| 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | | <p>管理者だけではなく、職員も権利擁護に関する制度の理解を学んで貰えるよう、会議などに取り入れ事をしながら、制度の再認識を全員が把握出来て、必要時に活用出来る取り組みをおこなっている。</p> |
| 11 | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> | | <p>高齢者虐待防止関連法について、学ぶ機会を持ち事業所内で虐待が見過ごされる事がないよう、管理者をはじめ職員一同で注意を払い防止に努めている。</p> <p>虐待防止の徹底においても、何処の部分からが虐待になるのか等、職員会議のほかに日常でも具体的な内容を常に伝え、日々の中で虐待が見過ごされないよう最善なる注意、防止に努めている。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | | <p>利用者・ご家族を含め面談をし思いや考えをお聞きし、事業所における理念を実践していく意味で、しっかり話し合い納得・理解をして頂いて頂けるよう取り組みを図っている。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|--------------------|--|
| 13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員、又は家族に訴える事が出来る環境の提供をしつつ、ご家族からも利用者の方が思っている事をお聞きして頂けるようパイプラインが出来ており運営に反映させている。 | | 利用者が日々感じて入る事を素直に現す、直接言える環境を作りをし、又、職員との信頼関係を築き上げる事の大切さを重視して、それらを運営の反映としている。 |
| 14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | ご家族の面会時には必ず時間を設け、利用者の近況方向、健康状態、必要に応じて金銭面での確認や相談などを細かく実施している。又面会時の会話の中からご家族の想い、要望を聞きだすよう勤めている。事業所からは毎月ポプラ便りを発行すると共に、各利用者の担当職員は手書きにてご家族へお手紙を書き報告を個々に行っている。 | | 面会時の時間を設ける事でハッキリとした利用者の報告が出来ていて、ご家族とのコミュニケーションが図れている。又、ご家族が遠方の場合には定期的に管理者、利用者の担当職員が電話にてコミュニケーションを図っている。事業所から月に1回ポプラ便りが発行され、利用者には各担当職員からお手紙を出して細かな報告などを個々に実施している。 |
| 15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 家族会を開催すると共に、年に4回(春・夏・秋・冬)事業所よりご家族へアンケートを発行し、施設長のみが個人の意見やアドバイスを把握され、職員会議時にアンケートを活かし運営に反映させている。 | | 常日頃からご家族とコミュニケーションを取り計らって居る事で、気軽に話し合える環境になっており、又、事業所からは年4回のアンケートを発行している。アンケートは直接言葉に出せない事がアンケートにした事でご家族、利用者の想いが文字となり更にご家族との交流がなされ運営に反映されている。 |
| 16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 運営者が施設長の為、現場にて管理者を元に職員の意見や提案を随時聞いて貰える環境なので、日々の職員や管理者の意見は反映されている。 | | 運営者が施設長で現場に携わっていることで職員の意見や提案などは随時、話せる環境である事が何よりの理解者である。職員は管理者との交流がスムーズに図れていて会議やカンファレンス以外にも意見や提案を聞く機会を作っている。 |
| 17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。 | 利用者の状態や状況に応じ、変化に対応できるよう職員の確保を配慮しながら勤務の調整に努めている。 | | 必要な人員は確保されており、緊急時などの対応には運営者が入るなどして、勤務の調整を柔軟に行っている。 |
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 職員の異動は無く、離職も殆ど出ていない為、利用者へのダメージには繋がっていない。新しい職員が入って来たときは職員間でのサポートにて利用者へのダメージも起きていない為、今後、異動などが有った際には利用者の方にダメージが起きないように馴染みの関係を築き最小限に抑ええ努力した配慮を行っている。 | | 離職や異動が少なく、利用者へのダメージも殆ど見られていないが、離職などが有った際には利用者へのダメージが最小限に抑えられるよう配慮をしている。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|--|-----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | | <p>法人外の研修に参加した職員は、研修後にレポートを提出し他職員が参加した研修内容を知る事で共有しあい、尚且つ、職員会議にて研修の感想を発表する機会が設けられている。法人内での研修も思考をこらし身近な所からでも質の向上に繋がるとトレーニングを実施している。</p> |
| 20 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | | <p>運営者は管理者や職員に多くの同業者との交流が出来るようネットワーク作りに入力して、情報交換や情報提供をしあい、相互の訪問が気軽に出来るようにも活動しつつサービスの質の向上をしていく取り組みを行っている。</p> |
| 21 | <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | | <p>運営者や管理者は食事会や休憩時間に何でも話せる雰囲気や言葉掛けをし、職員のストレス軽減に常に取り組んでいる。</p> |
| 22 | <p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> | | <p>運営者は施設長な為日々を通じ、各職員の努力や実績を認め、各自が向上心を持ち、もっとよりよい支援を行って行きたいと感じて働けるようにと努めている。</p> |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | | <p>施設長や管理者が何度も面談を行っていく事で、利用者との信頼関係を築きやすく、円滑に出来るよう工夫をしている。(顔を覚えて頂いたり、雰囲気を感じとって頂く工夫)</p> |
| 24 | <p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | | <p>信頼関係が出来るまでは同じ管理者、施設長が対応し利用者、ご家族と十分に時間を設け、困っていること、不安に思っている事、今までの辛さなど胸のうちのを開いて頂けるように、十分に話を聴き、想いを聴き信頼関係を作り出している。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|---|
| 25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 相談を受けたときに当ホームの説明も十分におこなうが、本人とご家族が「その時」必要している支援を見極める事で、他のサービスが必要とされた時は他のサービス利用などが有ることを含め対応に努めている。 | | 相談を受けた際に本人とご家族とよく話し合い、当ホームでの支援内容や思いを理解して頂けた際には、本人に合ったサービスを提供している。(訪問はり治療など) |
| 26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入居する以前に、本人が安心し、納得して頂くために来訪して頂き一緒にお話を聴ける状態・状況で有れば本人の話も十分にお聞きしている。来訪出来ない方には訪問する事で、顔を覚えて頂いたり、なんとなく覚えているように努め、混乱などを招かないよう十分な時間をかけ徐々に馴染めるようご家族を交え工夫をしている。 | | 入居前には基本的にホームの見学をして頂き、本人及びご家族に納得した上での入居となっている。見学時に本人が同席されたならば他利用者と職員が交流できる体制を図っている。(お茶、足浴など)入居されてからは、あくまでも本人の意を尊重しながら無理せず、気軽に共有空間を歩き来てきて、本人の居場所が作れるよう又は居室に戻ったときには、本人の馴染んだ家具や持ち物で安心して頂けるようご家族と相談しながら工夫を行っている。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 利用者は「家族のような存在である」という理念の元に本人の意を尊重し、職員は介護する側で、利用者は介護される側という一方の立場におかず、日常を通じ人生の先輩として多々学ぶ事も多くあり喜怒哀楽を共にし、支え合える関係を築いている。 | | 職員自らの「家族のように」の思いで支援にあたっている為、寂しい時は寂しいと肌に触れ合える関係作りが出来ており、嬉しい・楽しい事・面白い事などを含め共に支えあい助け合える関係を築いている。 |
| 28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 職員はご家族の協力や理解があつてこそ良き支援に繋がることを自覚し、家族の方との交流を大切に考えている。本人が出来なくなって行く辛さを共に感じ、本人が喜んだ出来事も共にし更に、ご家族の方も喜びとなり、皆が一つとなることで喜怒哀楽を共にし、支え合う関係を築いている。 | | ホーム内での生活状況をより詳細にご家族に伝え、ご家族と共に喜怒哀楽を共有しながら本人を支えていく関係となっている。面会が少ないご家族には電話で状況を伝えお互いに情報交換を行っている。 |
| 29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。 | 入居前にご家族と本人の関係を出来る限り詳しくお聞きしている。入居してからも昔話を聞きたす事で本人と家族の関係を理解するよう努め、今後に向け、よりよい関係が築いていけるよう支援している。 | | 本人の生活暦やご家族との関係を十分にふまえ、気づいた事、問題となっている事などをケース記録や日誌に書きとめ、常に職員が同じ情報を共有し、本人とご家族のよりよい関係作りになるパイプラインとなる支援をしている。 |
| 30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 入居された方が今まで大切にしてきた馴染みの人(家族・友人・知人・親戚など)との関係が途切れないよう、気兼ねなく面会に来て頂ける環境に努め、馴染みの場においては、職員の人数を確保するなどをして出来る限りの支援に努めている。 | | 馴染みの場所に訪ねてみたり、馴染みのお店へ出かける等、本人が大切にしている場所や人との関係には出来る限りの支援を行い満足して頂けるよう支援している。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|-----------------------|---|
| 31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 利用者同士の関係においては利用者が自然と居間に集まり、利用者自身が気の合う仲間を見つけ出したりしているので、職員は関係を把握し利用者が孤立する事のないよう座席の配置や職員が中に入り、関わりが持てるよう努めている。 | | 気心の合った仲間と過ごす事で、気持が安定し笑顔も増す為、共同空間についての過ごし方・食事時の席などに配慮し、利用者が孤立することなく過ごせるよう支援に努めている。 |
| 32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | サービス利用が終了してからも、継続的な関わりを必要とされる利用者、ご家族には関係を断ち切らない付き合いを大切にしている、 | | 退居されてからも、葉書や写真を送って下さるなどと関係作りを大切にしている。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 利用者一人ひとりが、その人らしく暮らして頂けるよう、想いや希望、意向などを反映させた個別ケアを重視している。困難な場合は色々な視点より本人の意に気づくよう配慮し、都度検討をしている。尚、日々の観察や利用者のご家族より本人の希望、意向を聞き取ることで利用者の思いや意向の把握に努めている。 | | 一人ひとりが思っている事や要望などを話しやすい環境や信頼関係作り重点をおいて支援を行っている他に、遠慮しがちや困難な方には、ご家族から職員へ要望や情報として提供して頂けるよう関係を築くことに努めている。 |
| 34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活歴などは個々にファイルにされている為、何時でもサービスを利用する経過を通じ必要を感じた時は観覧して行く事で、これまでの暮らしの把握をする事が出来る。 | | 本人が生活歴を話せない状態に有る時は、職員がご家族より昔の話を聞き取り入れていく事で、これまでの馴染みの暮らし方を把握する事でサービス利用などに活かした支援に努めている。 |
| 35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | 一人ひとりの一日の過ごし方や身体状況など含、変化などがあればケース記録や日誌に記入し職員全員が統一したケアを行えるよう努めている。 | | 職員間での情報伝達・情報交換がこまめにできており、総合的に把握出来る環境や職員間の関係がよい状態になっている。又、利用者の一日の過ごし方は個々のケース記録を工夫し色分けを行う事で心身の状態が把握しやすく工夫されていて統一したケアが出来るように努めている。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 本人がより良く暮らすために、職員会議、カンファレンスが実施されている他に、介護支援専門員の適切な管理のもとに、本人、ご家族などを交え要望や意見を取り組み反映した介護計画を作成している。 | | 会議、カンファレンスなどで出された個々の課題を明確にし、十分に検討し介護支援専門員監理のもとに、その都度、必要に応じた介護計画の見直しも行っている他に、ご家族に伝えて協力して頂けることで反映した介護計画を作成し本人がより良く暮らせる取り組みをおこなっている。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------|---|-----------------------|--|
| 37 | <p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。</p> | | <p>常に利用者の状況を観察して行く中で、変化が生じた際には速やかにカンファレンスを開き本人の現状に合った介護方法を職員で検討し、尚且つ、介護支援専門員の適切なアドバイスや助言、指導又は主治医の意見を取り入れ、本人、ご家族に変更の必要性を話し合い、現状に即した介護計画を作成している。</p> |
| 38 | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p> | | <p>個別ケア表を元に職員全員は記録の際に色分けなどをし見やすいように工夫をしつつ、記録の中には表情や発言内容も記入し気づきに繋がるよう活かし、新しい発見などが見つけ出された時には申し送り事にも情報を共有し実践に取り組めるよう随時、介護計画の見直しに活かしている。</p> |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。</p> | | <p>その時々々の要望に応じて、必要性があった場合は速やかに職員全員に情報伝達を行い、本人の状況や状態に合わせ柔軟な支援を行っている。今年度にはデイサービスを取り入れる体制となっている。</p> |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。</p> | | <p>子ども110番とし地域の子どもの守れるよう取り組みを行っている他に、ボランティアの受け入れや町内、近隣の方々と交え年2回の消防訓練に参加して頂いている。又、地域資源の協力には職員やご家族からも協力を頂いている。</p> |
| 41 | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。</p> | ○ | <p>他の事業所との交流で情報交換をしつつ、更なる交流を深め又新たな事業所との交流に取り組む、他のサービスを利用する為の支援を行っている。</p> |
| 42 | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。</p> | | <p>事業所の理念を元に現状の報告を行いながら、本人がより良く暮らし続ける為に地域包括支援センターと交流を図り総合的に情報交換などをし、必要に応じたマネジメントなどについて協働している。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----|---|------------------------|---|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。</p> | | <p>利用者の体調変化が生じた時に、かかりつけ医と随時相談が出来る連携がなされており、親切に解り易い指示を出して頂いている。緊急時にも医療の対応が行われる体制となっていて、本人・ご家族が安心して頂けるような支援となっている。</p> |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p> | | <p>認知症専門医への受診時には、利用者の細かな状況や状態を伝え、事業所での支援状況なども含め、その都度、利用者の変化などに合わせた取り組みをして頂いている。急変時にも速やかな対応(アドバイス、受診)に図ってくださるので専門医の適切な指示の元で支援をおこなっている。</p> |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p> | | <p>訪問看護日や往診日以外で有っても24時間の連携体制が成されている為、日々生活しているうえで、利用者の体調変化等がおきたときには何時でも気軽に相談アドバイスをし、日常の健康管理や医療活用を行っている。</p> |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p> | | <p>利用者が入院した時は早期退院が出来るように努めると共に、詳しい情報提供をし、入院生活がスムーズに行われ早期退院へ繋がるよう医療機関との連携をしつつ、管理者や職員がお見舞いに行く事で、利用者の精神的緩和を図り、随時医療との情報交換を行っている。</p> |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p> | | <p>利用者・ご家族と全員で意思の確認を行って頂き、かかりつけ医などの意向も含め利用者にとって最善なる対応が図れるよう、幾度も幾度も話し合いをし、方針を共有している。</p> |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p> | | <p>利用者の状態を細かく把握していく事で、最小限の変化でどどめる事が出来ている。又、かかりつけ医と速やかに連携が取れる関係と築きあげられている為、情報を共有しチームとしての支援に取り組んでいる。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|--|
| <p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p> | <p>住替え事のダメージを防ぐ為に、本人やご家族、ケアに関わる関係者間で十分に情報交換や話し合いを行い、利用者が精神状況を十分に考慮し、住替えによるダメージを防ぐ事に努めている。</p> | | <p>利用者が住替えをする際にダメージが生じないように、ご家族、ケアに関わる関係者と十分な話し合いや情報交換を行い、ご家族の協力も得ながら利用者のダメージを防ぐ事に努めている。</p> |
| <p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> | | | |
| <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> | | | |
| <p>(1)一人ひとりの尊重</p> | | | |
| <p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p> | <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けや対応をしないよう、職員全員が専門的な介護職と言う自覚もちながら支援を行っている。個人の記録や情報に関して、他の利用者やご家族、外部の方が閲覧できないように管理を行っている。又、職員と事業所においても個人情報においての契約を交わしている。</p> | | <p>声かけや対応については、職員会議やカンファレンスなどにて職員間で統一を図っている。又、記録等はキーパーソンの家族のみと限定し閲覧をして頂いている。その他の面会者には面会簿のみとし、個人情報の徹底を行っている。</p> |
| <p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p> | <p>一人ひとりに合った声掛けや説明を職員全員が統一して行っている。利用者の中で自己選択、自己決定をして頂くなど、日々の中に自然と本人が納得して暮らせるよう支援を行っている。</p> | | <p>本人がわかりやすい言葉、表現をしっかりとアセスメントし、カンファレンス等で職員間で情報交換が行われ、利用者が混乱や不安にならない様、声掛けや説明をした支援を心がけおこなっている。</p> |
| <p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p> | <p>一人ひとりのペースを大切に、何かを働きかける前に、利用者の意を尊重し確認した上で支援を行っている。又、その日をどのように過ごしたいか希望が有った場合は可能な限り、本人の意に添えるよう支援を行っている。</p> | | <p>日々の状態などを観察し、日によっては、居室にてゆっくり過ごして頂いたり、本人の希望に合わせた支援を行っている。尚、職員側の決まりや都合を優先するのではなく、可能な限り、利用者の意を尊重しつつ、本人のペースで個別ケアが実施されている。</p> |
| <p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| <p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p> | <p>その人らしい暮らしを続ける為の支援の中で、身だしなみなど衣類・化粧品などを職員と一緒に買い物に出かけ、本人が満足できるよう支援している。理容・美容も希望があれば、近所の美容室や、行き付けの床屋へ行けるように努めている。</p> | | <p>何時までも、その人らしい身だしなみやお洒落を続けて頂きたい、メイクや衣類・整髪に至るまで本人の希望を可能な限り取り入れ、又、事業所内のみ対応の利用者の方には訪問美容室や職員の中で美容師の資格を得ている物がある為、ホーム内で気軽にお洒落を楽しんで頂けるよう努めている。</p> |
| <p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p> | <p>食事が楽しみであるがゆえに、一人ひとりの好みや状態を把握し、利用者と共に献立を考える機会を設けたり、作業が可能な方はそれぞれに役割分担をして頂き、職員と共に楽しく作業をされている。(利用者の得て不得手を考慮)食事の好みには配慮し、食材を工夫したり、代替えを用意したり、又、刻み食・トロミ食にて可能な限り自力摂取出来るよう配慮している。</p> | | <p>食事の時間が一番楽しみとされている為、「・・・が食べたい」などの要望を取り入れ、旬の物も四季を通じて取り入れている。食事の仕度をしている際には居間に香りが広がる為、食事が出来上がるのを楽しみにされている。利用者に応じて器や箸にも気配りをし、本人の力で食べながら喜びを味わって頂けるよう支援に取り組んでいる。</p> |

| | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|--|---|-----------------------|--|
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 利用者の中で、お酒、タバコを嗜む方はいない。飲み物やおやつ等は一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう工夫を行い、又、近所のスーパーに本人が食べたいおやつを希望された時などは、職員が同行し買い物を楽しまれ、時にはケーキ屋さんや喫茶店に行けることは外へ出て楽しませられている。本人が居室にて自己管理出来る方は居室にて間食をされるなど、個々に合わせた支援を行っている。 | | 体調管理を含め、水分摂取量の少ない利用者へは、好きな飲み物を用意し、おやつに関しても個々に合わせ、塩分や糖分などに考慮しつつ、できる限り楽しめるよう工夫し支援を行っている。 |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 一人ひとりに合った排泄パターンを把握し、排泄時間にプライバシーに配慮しながら声掛けや誘導を行う事で、失敗を未然に防いでいる。基本的に失敗は失敗では無く、排泄の意味を説明し、気持ちの良い排泄の支援を行っている。オムツやリハパンの使用は最小限におさえるよう取組んでいる。 | | 最小限オムツの使用は控え、トイレで排泄が気持ちよくできるよう声掛けや誘導を行うと共に、トイレの環境や清潔を配慮し、排泄後にはウォッシュレットやウエットティッシュにて本人が常に気持ち良いを思えるよう支援している。 |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 一人ひとりの希望やタイミングに全て合わせる事は難しいが、可能な限り本人の意に添うよう心がけ、入浴を楽しんで頂き、又、自己決定の出来る方には都合を聞いたりしている。入浴をあまり好まない方には、入浴剤を用いて香りを楽しむ他に湯加減や職員と会話が弾むように工夫をし「気持ち良かった」と思える、楽しめるよう支援を行っている。 | | 入浴をあまり好まない方や、自己決定、自己選択が難しい方については、定期的にごちから働きかけるが、体調や気分を見極め身体の保清の目的以外に気分転換にもなる為、楽しく入浴が出来るよう支援している。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 日常を通じて自己決定にて居室に戻られ、自由に休息をして頂き、本人が意思を伝えられない方には、本人の状態や状況を見極め必要と思われる時は声掛けや誘導にて、休息を促しをし、室温や光など環境を整え、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援をおこなっている。 | | 一人ひとりの生活パターンを把握しつつ、その時の体調を見極め休息を促したり、自己決定にて居室で自由に休息を取られる方もおられるが、安心して休息をして頂くためにも時々、様子を見に行き、ドアを締めつきりにせず、ノレンをしようすることでプライバシーの確保に努め気持ちよく休息したり眠れるよう支援を行っている。居室の環境にも気配りを実施している。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 一人ひとりの役割を職員が把握し、張り合いや喜びの有る日々を過ごせるように、本人の生活歴を確認し、現在の出来る力を活かせるよう引き出していく事で、表情などに変化が現れる。常に張り合いや喜びに繋がるよう心がけをし、又、気晴らしの支援なども個々に合わせ取組んでいる。 | | その人らしい暮らしを続けて頂くために、喜びや張り合いが感じられるよう、日常生活の中で役割、楽しみ事などを見つけ出し、本人が達成感を感じ又、職員から感謝の言葉や気持ちを伝える事で更なる喜びとなり、日常生活において意味のあるように気晴らしの支援も取り入れ、生き生きとした暮らしが出来るよう支援に取り組んでいる。 |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | お金を持つ事の大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じ、又ご家族と話し合いをして本人に所持して頂いたり、実際にお金を使えるような場を提供し支援を行っている。 | | 自己管理の出来る方は買い物に出た際は自ら支払いを行い、お金を所持しているという事で安心されている。又、支払いが不可であっても、お財布の中にお金が入っているのを確認出切るだけで納得や安心感に繋がる為、必要におうじた支援を行っている。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|------------------------|---|
| 61 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p> | | <p>一人ひとりの日々の中で、当日の健康状態を把握し、可能な限り多く外出ができるよう体制を整え、車を使用したり、徒歩や車椅子などにて近所での散歩・買い物などが速やかに対応でき、利用者が満足できるよう支援している。</p> |
| 62 | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p> | | <p>一人一人が行ってみたい所が有り、可能な限り実現出来るよう取り組みをしており、個別に出かけたり同利用者とかかけたり、又、ご家族と共に一泊の温泉旅行に行くなどの支援を行っている。</p> |
| 63 | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p> | | <p>ご家族や友人から電話があった時は回りに気兼ねせず会話出切る様に、居室誘導しゆっくりとお話をされている。又、利用者へ荷物が届いたときなどは必ずお礼の電話を掛けたり、自らかけられない方には職員がダイヤルし会話をされている。そのほかに、時折、職員から声掛けをし「そうだね」とかけられている。年賀状なども、自筆にて書けるよう支援している。</p> |
| 64 | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> | | <p>利用者の馴染みの方たちが何時でも気軽に訪問でき、居室にて好きなだけ過ごして頂けるよう工夫をし、来訪して頂いた時は必要に応じて、お茶やテーブル、お茶菓子などを用意して、ゆっくり居心地よく過ごして頂けるよう配慮している。</p> <p>居室にて、利用者とお弁当や出前を取ったり、テーブルを囲み賑やかに過ごされたり、一緒に昼寝をされるなど、家庭的な雰囲気を感じられ本人、ご家族ともにゆったり出きる居場所が作られている。</p> |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p> | | <p>運営者及び職員は身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、状態や状況において、自傷行為、他傷行為は生命に関わる行動な為、危険性が出で来たときには、医者を含めご家族とよく相談し、納得されるように努め改善への支援を行う。</p> |
| 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p> | | <p>居室や日中玄関に鍵を掛ける事の弊害について、職員会議などで確認し全ての職員が理解している。鍵をかけないケアに取り組む又鍵をかけなくても利用者の動きや所在地を常に見守りしている。夜間においては外部からの不審者進入予防のため玄関は鍵を掛けている。</p> <p>あくまでも利用者の行動を見守ることで、居室や玄関の鍵をかける事は無い。</p> |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|---|
| 67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通じて利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 昼夜を通じて利用者の所在を把握し、居室で過ごされている方にもプライバシーに配慮しながら様子の確認を行い、安全に配慮している。 | | 居室にて過ごす事が多い方は、プライバシーに配慮し、ドアにノレンをかけ、ドアを常に開放しつつ、ノレンから中の様子が確認出切るよう安全に配慮している。 |
| 68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、安全に使用できるよう見守り、支援を行っている。危険性が高い方は職員側にて管理を行っている。 | | 個人で管理できる方は居室に置くが、マッチやライターは火災に繋がる為職員で管理を行っている。 |
| 69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 転倒リスクが高い方には、一人ひとりに合った対策を図り、誤薬する事のないよう、薬は職員が管理し、飲み込むまで見守りをし事故防止に取り組んでいる。 | | 毎月のカンファレンス等で、一人ひとりの状態を確認し、現在、今後、起こりえる事故を想定し、ケアプランの見直しをかけ、事故防止に取り組んでいる。 |
| 70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 緊急マニュアルのほか、急変や事故発生時に備えて、応急手当や初期対応について職員間で常に話しがされている。 | ○ | 事故発生時は速やかに管理者及び施設長へ連絡をとると共に、必要に応じて病院等へ連絡し適切な指示を頂くなどの対応もできており、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 |
| 71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 年2回の避難訓練を行い、日中・夜間帯を想定し消防、地域役員、近隣の方にも協力を頂きながら実施している事で避難方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけ協力して頂けるようになっている。 | | 避難訓練時には、職員が動揺しないで利用者の安全確保を行うとともに、避難訓練時は近隣の方や地域役員が積極的に参加していただき、「災害においては、皆が協力しないと大変な事になる」と実感されより多くの方へ協力が得られるように日頃から働きかけている。 |
| 72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。 | リスクについては、本人、ご家族と相談を十分に行い、本人の尊厳を尊重しながら抑圧感がでないように職員間でも十分な話し合いをし、ご家族、本人が納得の上でリスクの対策を実施している。 | | リスクを生じる状況になった場合は早急に職員間で話し合い、ご家族や本人にも対応策を伝えつつ、抑圧感のない暮らしへと繋がるよう十分に話し合いをおこなっている。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| 73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 申し送り時には、特変事項も伝えられるが、常に一人ひとりの体調の変化に気づくことに努め、気づいた際には速やかに職員に情報の伝達を共有できる対応に結びつけている。(日に3度の血圧、熱、心拍、水分量、排便確認を実施。その他に必要な応じて個々に夜間帯にも血圧や心拍・尿量の確認をしている) | | 一人ひとりの体調には十分に気をつけ、一日を通じて血圧・熱・心拍・浮腫みなどを観察し変化があった時は職員全員に伝達されるよう記録に記入し情報の共有を図り、早期対応に心がけている。 |
| 74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 職員は利用者が服薬している薬や薬の内容、副作用を把握している。薬の変更があった際には職員全員が解るよう日誌に記録し、利用者が服薬する意味と服薬の支援や確認に努めている。 | | 症状は日常生活を通じて観察しており、薬の変更時は特に注意し、変化が見られた時には医師に相談し適切な指示を受けている。 |
| 75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 一日を通じて朝食時には、豆乳・牛乳を飲んで頂き、食事には食物繊維を多く取り入れ、身体を動かすなど、一日を通じて工夫をし、便秘予防に取り組んでいる。 | | 日常を通じて便秘の予防対策は行っているが、慢性的な体質の方は医師の処方にて下剤を使用している。 |
| 76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 毎食後に口腔ケアを行い、又、毎週訪問歯科が来ている為指導を受けながら個々に合わせた口腔ケアを支援している。 | | 歯ブラシだけではなく、歯間ブラシ、舌ブラシを使用し残存歯を大事にし、口腔ケアの支援をおこなっている。 |
| 77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 栄養摂取や水分確保には、個々の摂取量が全て記入されており、不足がちになった時は速やかに本人の好みの物などで促しを一日に必要な量を確保できるよう支援している。一人ひとりの状態や習慣に合わせて、刻み食・トロミ食・食べる時間などにも柔軟に取り入れ利用者の支援にあたっている。 | | 利用者の好みで食べられない物にも配慮し、工夫がなされている。食欲が無い時には捕食にて栄養を摂取し、水分も同様に工夫をし一人ひとりが一日を通じてバランスが取れるよう支援を行っている。 |
| 78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症予防マニュアルを作成している他に、日々(年間)を通じて予防対策に取り組み、インフルエンザ予防接種健康診断は年2回実施している。職員も予防の意味を理解している。又、手洗い・消毒・うがいなどの実施もされている。 | | インフルエンザ予防接種利用者・職員全員が受け、職員は年2回健康診断を受けている。又、感染症予防には日頃から、各所に徹底した清掃を行うとともに、手洗い、消毒、うがいを実行している。 |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|---|--|---|------------------------|---|
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 食中毒予防の為、調理器具や台所に関わる物は使用の都度、ブリーチにて殺菌を行っている。食材は加熱・冷却・冷凍をし、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | | 食材の管理は食中毒を防ぐ為、いたみ易い物から使用し、冷凍・冷蔵にも気をつけている。調理器具などはブリーチの使用にて殺菌や食中毒に気をつけ、口に関わる物へも管理に努めている。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 利用者が安心して出入りできるよう、玄関のスロープは滑り止めを使用し、手すりも両サイドに取り付けられている。冬季以外は玄関先にベンチやプランターを置き、お花を育て、裏庭では家庭菜園も作り楽しみの一つとなっている。ベンチに腰掛けている事で近隣の方とコミュニケーションが図れるなど工夫をしている。 | | 建物周囲には花壇を置き、建物前には小物やベンチを置き、一般家庭らしい雰囲気となっっているながら、利用者の出入りが楽なように手すりやスロープ、滑り止めにて工夫をおこなっている。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 共用空間は、その日の天候によってレースのカーテンを開け閉めし光の調整をしている。又、生け花などを置いたり、廊下には四季を感じられるよう作品を飾り、イベントの写真なども掲示し、生活感や季節感を取り入れ、居心地よく過ごせるような工夫をしている。不快な音は住宅地に有る為、感じる事はない。 | | 季節感を感じとれるように、廊下等を使用して飾りつけをし、居心地よく馴染みの有る環境の提供に心掛けて工夫をしている。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 共用空間では、気軽に新聞や雑誌を見たり、裁縫をしたり、個々に自由に過ごされる環境となっており、その中で利用者同士が会話や作業に取り組まれている。廊下には一人になれるスペースを設け、読書、外を眺める、植木を眺めるなどと工夫している。 | | 自己決定が出来る人は居室や居間を歩き来したり、他利用者の居室にて、主婦の会話をされるなど、気軽な関係が出来ており、時折、一人になりたいと言うため、廊下にて癒されるような空間を設けている。 |
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 居室は本人が使用していた家具や使い慣れた物が有り、本人が自分の部屋だと解り、安心して居心地よく過ごせるような工夫をしている。(ご家族にも協力と理解をいただいている) | | 写真や本人が使用していた、タンスなどを置き、本人の馴染みのものを見る事で安心感が得られるので、ご家族にお願いして極力、本人が使用・愛用していたものを持って来て下さるように工夫をしている。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 気になる匂いや空気のおどみがないよう、毎朝の掃除時は空気の入替えをし、温度調節・湿度にも配慮し、各居室に温度計・湿度計をつけ、更に本人の意向や個々の状態に応じた対応をおこなっている。 | | 外から入って来た際に空気のおどみや匂いが感じられないよう、換気には十分配慮しつつ、室温、湿度にも気をつけている。個々の居室においては、本人の状態や意向を取り入れた対応を行っている。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んで きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|---|
| 85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 建物内部は身体機能を活かして安全に出きる限り自立した生活が送れるよう、廊下に手すり、トイレ内や浴槽、居室にも一人ひとりにあわせ手すりを増やすなどを行っている。ベットや椅子などに腰掛けた際、足元が滑らないようマットを使用するなど工夫をしている。 | | 居室、浴室、玄関、トイレなど必要に応じて設備を増やし、できるだけ一人で身体機能が安心して活かされるように工夫し、自立動作に繋がるよう取り組みをおこなっている。 |
| 86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | トイレなどすぐ見てわかるように文字板などを貼り、居室前にも本人の部屋だと解るように、名札、ノレン、利用者手作りの作品を掲示し混乱しない工夫をしている。又、食器なども以前から使用していたものであったり、個々にあわせた物を用意している。居室にあるタンスにも、混乱が生じないよう、衣類の種類を書いた紙を貼ることで自ら整理しやすいように、出来るだけ自立して暮らせるよう工夫をしている。 | | 一人ひとりに合わせたケアを重視すると共に、今まで出来なかったことを見守りの中、残存機能を活かした自立支援に努めている。尚且つ、見極めをし混乱や失敗を防ぎ、統一したケアをおこなっている。 |
| 87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | 建物の周りにはベンチ、ベランダ側には洗濯物干しがあり、利用者と職員が共に作業をし、裏庭には多数の利用者が御茶や、焼肉ができるよう席やテーブルが設置され、小さいながらも家庭菜園を行っていて収穫を楽しみとされている。 | | 春先からのガーデニングや野菜作りには大変興味をもたれていて、積極的に参加される姿が見られる。身近に自然と触れ合える事で気分転換や生き生きとした表情が見られ楽しみを増やせるよう取り組んでいる。 |

| V. サービスの成果に関する項目 | |
|--|--|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ①ほぼ全ての利用者 ○ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない |
| 89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ①毎日ある ○ ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ①ほぼ全ての利用者 ○ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている | ①ほぼ全ての利用者 ○ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ①ほぼ全ての利用者 ○ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ①ほぼ全ての利用者 ○ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 94 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ①ほぼ全ての利用者 ○ ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない |
| 95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ①ほぼ全ての家族 ○ ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない |
| 96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ①ほぼ毎日のように ○ ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| V. サービスの成果に関する項目 | | |
|------------------|--|--|
| | 項目 | 取り組みの成果 |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 | ①大いに増えている ○ ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き生きと働いている | ①ほぼ全ての職員が ○ ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての利用者が ○ ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ①ほぼ全ての家族等が ○ ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

当事業所は家庭的な雰囲気のもとで、利用者と共に生活し支援をおこなっている。一人ひとりの尊厳を尊重し、個別ケアを重点に置いている。一人ひとりの変化に速やかに対応し安心感をもたれている事から、ご家族からも安心していただけている。又、地域との交流も増え、協力体制がなされており、安心して地域にて暮らせる環境となってきました。今後も、当事業所に自らが入居したい、家族を入居させたいなどの声が多く、理念をもとに更なるサービスの向上・職員の質の向上を図り、支援に取り組みを行っていく方針であります。